

「庁舎整備に関する市民説明会」での意見・質疑応答

※「●」は参加者からの意見等

※「(回答)」は稚内市の回答。

【導入機能について】

- 保健福祉センターの機能も検討しているとのことだが、現在の保健福祉センターの機能が不足しているとの認識なのか。
⇒(回答) 不足しているということではなく、現在、保健福祉センターには「長寿あんしん課」と「健康づくり課」があるが、手続きの関係で本庁舎と保健福祉センターを移動しなければならない場合もあるため、市民の利便性向上のため、機能の移転も検討している。
- 公共公益機能の連携よりも、市民の利便性が最も重要である。
- 全ての機能を庁舎に導入するのは難しいと思うが、市内では海員会館が利用できなくなり、飲食ができる大きなスペースがなくなってしまった。市民交流機能としてこういったスペースの確保は検討しているのか。また、そのスペースの規模はどの程度か。
⇒(回答) 現時点で、規模は決定していない。市民交流スペースについては、平常時は市民の待合スペース等として、防災時には一時的な避難スペースとして、また、期日前投票や確定申告の際にも利用できるような多目的スペースにしたいと考えている。
- 保健福祉センターの機能は、ぜひ新庁舎に入れてもらいたい。一箇所で申請等の手続きが可能な庁舎としてほしい。
⇒(回答) 保健福祉センターの機能を全て集約するのは難しいかもしれないが、現在、保健福祉センターには「長寿あんしん課」と「健康づくり課」があり、手続きの関係で本庁舎とセンターを移動しないといけない場合もあるため、市民の利便性向上を考え、機能の移転等を検討している。
- 賑わいの創出や人を呼び込むためには、そのためのスペースや機能が必要になると思う。

【施設規模について】

- 現庁舎と同じ規模であれば、市民の流れを変えるための市民交流スペースは確保できないのではないのか。
- 新庁舎は現庁舎と同様の5階建てになるのか。
⇒(回答) 日照権の関係もあり、建設位置によって変わる事となる。建設位置や導入機能とあわせて、何階建てにするかも検討していく。
- 人口が今後も減っていくが、なぜ現庁舎と同規模になるのか。
⇒(回答) 一時的な避難場所や市民交流スペースなどの新たな機能を導入することや、現在、保健福祉センターにある「長寿あんしん課」と「健康づくり課」の一部機能の移転も検討している。これらの機能を導入し、7,000㎡を想定している。

【災害時の対応について】

- 災害時の対応が一番重要になると思うが、現在市役所に勤務する職員の多くが南地区や東地区に住ん

でいると思う。先日の大雨の際には道路も寸断されてしまったが、そういった有事の際に職員は庁舎にすぐに駆け付ける必要があるので、その点も十分考慮して検討してほしい。

【駐車場について】

- 現庁舎周辺であっても中央商店街周辺であっても、十分な駐車場が確保できるのかが不安である。
⇒ (回答) 防災面とともに、駐車場の市民ニーズも高いので、可能な限り多くの駐車場が確保できるようにしたい。
- 市民がいつも求めているのは駐車場の確保である。特に市立病院は駐車場が不足しているので、その点も踏まえて検討して欲しい。

【建設位置について】

- 現庁舎周辺に庁舎を整備する場合、現庁舎の前に建設するしかないと思う。その場合、現庁舎位置が駐車場となると考えられるが、背後が山であり、土砂災害特別警戒区域もあるため、危険である。
⇒ (回答) 選択肢を増やす意味でも、現庁舎敷地と隣接した土地も含めて検討している。基本計画では具体的な建設位置も示していく。
- 現庁舎周辺で整備する場合、現庁舎前に整備するようなイメージをしているが、50年後や100年後を見据えた際には文化センターや市立病院の建替えの話も出てくる。空き地を確保し、庁舎、総合文化センター、市立病院を順次建替えするような形で回していけるとよい。将来、子ども達の世代が悩まないよう検討してもらいたい。
⇒ (回答) 将来的な総合文化センターや市立病院の建替えも含めて検討している。また、現庁舎敷地と隣接する土地の取得も視野に検討している。
- 現庁舎周辺と中央商店街周辺の比較がされているが、個人的にも現庁舎周辺が良いと思う。
- 建設位置はどこか。
⇒ (回答) 現時点では決定していない。防災などの必要な機能の導入や、コンパクトな執務室、保健福祉センターの一部機能の移転等を検討した上で、適切な建設位置や庁舎の規模を決定していく。
- いつ頃、建設位置等は決まるのか。
⇒ (回答) 今年度中には基本計画を作成するが、その中で建設位置も決定していく。
- 駅や公共施設など、都市機能が集約されているだけで中央地区とするのか。
⇒ (回答) 昨年度、各地区の比較を行い、都市機能の集約だけでなく、これまで進めてきた「まち」と「みなと」が一体となったまちづくり、アクセス性等も踏まえて中央地区とした。
- 宗谷総合振興局など、国や北海道の機関は別な地区にあるが、そこに市役所も近接させた方が申請等において市民の利便性が向上するのではないか。その場合、津波の心配はあるが、駐車場は確保しやすいと思う。
⇒ (回答) 国や北海道の機関と近接させることは津波の心配もあるため、末広地区に整備することは難しいと考えている。市としては、国や北海道の機関の建替えの際に、中央地区に移転していただければと考えている。
- 土地買収をするのであれば、もっと安い土地を探して建てた方がいいとも思う。
- 用地取得することもあるのか。現在の市の土地はどこまでか。

⇒ (回答) 現在の市の土地は、前庭と、現庁舎裏にある公用車の駐車場部分である。隣接する土地の確保も含めて現在検討中である。

【中央地区（又は中央商店街）の活性化と庁舎整備の関係について】

● 庁舎整備とは別の話ではあり、大きな経費が必要となるが、中央商店街の再生も大事である。

⇒ (回答) 中央商店街を含めた中心市街地のまちづくりについて、市としても担当課と検討している。

● 賑わいを創出するためには、現在の機能だけでは難しい。キタカラとの連携も具体的にどのように進めていくのか。

⇒ (回答) 庁舎整備とあわせて、市の都市計画の担当課とも連携しながら今後のまちづくりについて検討している。庁舎整備だけで終わるわけではない。

● 現在の中央商店街は寂しい。中央商店街周辺で庁舎を整備するのは土地取得等もあって難しいと思うが、中央商店街の活性化も検討してほしい。キタカラには人がきているが、そこから波及していない。

● 中央商店街周辺を整地したり、再開発が行われるのであれば、若い人が入ってきやすい。庁舎整備とは別に、そういったことも考えてもらえればいい。観光にも影響すると思う。また、観光によるまちづくりを進めるため、中央商店街を活かすことも考えてもらえればいい。

⇒ (回答) 今回は庁舎整備の説明をさせていただいているが、まちづくりの担当課とも情報共有しながら、中心市街地の活性化についても検討している。

● 庁舎整備の件では、中央商店街のことは考えず、庁舎のことだけを考えてほしい。

● 庁舎は、まちづくりを発信する施設であり、まちづくりに参加するものでないと思う。稚内では何年かに一度大火もあるので、防災拠点にもなる庁舎は独立性のあるものにした方がよい。市の考えもあると思うが、発信拠点として考えてほしい。

【財源について】

● 財源について、地方債以外の活用は検討されたのか。

⇒ (回答) 再開発事業やPFI等の活用も検討した。

● 庁舎整備には多額の費用が必要になるのか。

⇒ (回答) 正確な事業費は現時点で算出していないが、市職員で構成するプロジェクトチームが平成30年4月に作成した報告書では、当時の単価で42億円程度が必要になると算出している。

● 財源はあるのか。市民になるべく負担のないようお願いしたい。

⇒ (回答) 庁舎整備に対しては、これまで国からの補助や有利な地方債がなかったが、熊本地震を契機に有利な地方債が創設されたため、その地方債の活用を考えている。

● 活用する国の地方債の内容はどのようなものか。償還期間はどれぐらいか。

⇒ (回答) 今回活用を想定しているのは、熊本地震後にできた有利な地方債であり、事業費に対して9割の借入が可能となる。また、単なる借金ではなく、借入れた9割に対して、3割分が交付税として市に戻ってくることとなるので、この有利な地方債を活用していきたい。償還期間は、20年償還を考えている。

【その他】

● 新庁舎への投資は、まちの将来にとっても大きな投資である。

- 将来への借金となる起債も活用することになるので、若い世代の意見も取り入れるべきである。
⇒(回答)市民ワークショップを開催し、市内の高校生にも参加いただきながら意見を頂戴している。
- 資料の内容が多岐に渡っており、市民としては何を考えていいのか悩んでしまう。もう少し簡単な資料にしてほしい。
⇒(回答)今回は基本構想の概要版を使用しているが、本編は90ページ以上の内容となっている。10月2日までパブリックコメントも実施しているので、そちらでもご意見をいただければと思う。
- 現在、エネルギーセンターから庁舎へ熱源を供給しているが、新庁舎ではどのようにするのか。
⇒(回答)現在、その点についても検討中であり、基本構想の後に作成する基本計画や基本設計・実施設計の中で決定していく。
- 建替えは賛成である。
- 緑地の整備は素晴らしいことだと思うが、維持管理の費用も発生するので、その点も踏まえて検討したほうがよい。
- 検討の進め方について、2014年に商工会議所が地域戦略ビジョンを作成し、それから6年が経過しているが、市民に対する説明会や庁舎建設検討委員会も昨年度から開催され、地方債の活用を優先して進めているようにも見えてしまう。議論不足ではないか。
⇒(回答)市としては2011年末に庁舎耐震調査を行い、「震度6以上の地震に対して倒壊または崩壊する危険性が高い」と診断されてから内部で検討をしてきたが、学校や市民の皆様が多く利用する施設の整備を優先して進めてきたことは事実である。2016年に発生した熊本地震では、災害対策本部となる庁舎が崩壊してしまったこともあり、庁舎整備に有利な地方債が新たに創設された。そのような時代の流れのこともあり、優先度が変わってきた中で、内部でも庁舎整備の議論を進めてきた。市民に対する説明会等は不足していたかもしれないので、今後も都度説明の機会を設けていく。
- 現庁舎を壊した後に新庁舎を整備するのか、もしくは現庁舎を使用したまま新庁舎を整備するのか。
⇒(回答)現庁舎を使用しながら新庁舎を整備することになる。
- 現庁舎前の道路は狭く、アクセス性が良いとは思えない。せめて、国道沿いであれば道路幅もあるので問題ないと思う。
- これだけ人口減少が進む中、賑わいはそう簡単に作れない。
⇒(回答)庁舎だけで賑わいを作るのは市としても難しいと考えている。キタカラなど周辺施設とも連携させながら検討していく。
- 中央商店街で商売をしている方の高齢化も進み、今後もお店をやめてしまう方もいるのではないか。
⇒(回答)昨年度、キタカラに130万人(推計値)の方が訪れ、キタカラへの集約まではうまく進めることができている。その人の流れや賑わいを、民間企業とも連携しながら周辺に波及させようと考えていたが、現時点ではうまくいっていない。中央商店街で商売をしている方の高齢化が進んでいるのは確かであるが、一部では世代交代も進んでいるので期待している。駅前にはゲストハウスもでき、少しずつではあるが動きも見えてきた。
- ある程度、機能が分散してもいいのではないか。緊急時等に本庁舎がダウンしても、保健福祉センター等がダウンしないといったことも考えられるのではないか。
⇒(回答)保健福祉センターにいる職員を全て本庁舎に移転させるということではなく、手続き上、市民の皆様にご不便をかけている部分を改善したい。健康診断などはこれまでどおり、保健福祉センター

の設備を活かしながら運営していこうと考えている。災害時等のリスク分担についても、ICT 技術の活用も含めて検討していくと考えている。